



“実行委員会主体”の修学旅行を終えて

6/8(木)～10(土)3年生の修学旅行が実施されました。梅雨の時期で雨も心配されましたが、長時間降られることもなく、充実した旅行となりました。この3年間はコロナ禍ということもあり、さまざまな行動制限がありました。しかし、コロナが5類に移行となり、以前のように新幹線では対面で座ったり、おしゃべりしながら食事をするなど、楽しいひとときを過ごすことができたのではないかと思います。今年度特に印象的だったのは、事前の集會も含め、実行委員の生徒が全体を前に挨拶をする場面で“自分の思いを自分の言葉で”話していたことです。それができたのも、修学旅行に向けて実行委員会を中心に半年以上時間をかけて取り組んできたからではないかと思います。3年生が書いた「今回の修学旅行を通して学んだこと、印象に残ったこと」にもそうした部分が十分に表現されているので、次のとおり紹介いたします。



- 「なぜ？」を見つけることで、その建物の文化をもっと詳しく知ることができるということを感じました。今後、勉強でも「なぜ？」がたくさん生まれたら勉強もはかどると思いました。
- 京都がただの古都ではなくて、発展しながら古き良き伝統を残していることに感銘を受けた。
- 座禅で「人は空っぽだからこそ、他の考えや行動を受け入れられる」ことを学んだ。今後は他の人の考えや行動も受け止めて、自分のものにしていこうと思いました。
- 建物や景色は写真で見ると実物を見た方が絶対に良いと感じた。それは人間も同じで人のうわさや偏見だけで決めつけず、ちゃんと話してからその人を理解しようと思いました。
- 班別行動を通して、予定はあくまでも予定で、その通りには進まないというのが身にしみてわかった。そこで大切なのは臨機応変に対応する力だと思う。
- 修学旅行は行く前はスマホもないし、行きたくないと思っていたけど、スマホがなくても十分楽しめたし、みんなと仲良くなれてうれしかった。もう一度行きたい。

“いつもどおり”が一番強い！ ～『激励会』～

6月24日(土)から夏の市総合体育大会が開催されています。運動部の生徒にとっては全国大会までつながる事実上最後の大会です。出場する選手の方々には、これまでそれぞれの夢に向かって努力してきた成果を思う存分発揮して欲しいと思います。また、競技や会場によって若干対応が異なりますが、原則として市・湘南ブロック大会については保護者の観戦もできますので、顧問に確認の上、子どもたちの勇姿をご覧いただければ幸いです。さらに、この夏は運動部だけではなく、文化部も次のようなコンクールや大会に出場・協力します。

- 吹奏楽部 7/28(金) 湘南吹奏楽コンクール(茅ヶ崎市民文化会館)
- 合唱部 7/23(日) ふじさわ合唱祭(藤沢市民会館大ホール)
- 8/4(金) Nコン県コンクール(相模女子大グリーンホール)
- ボランティア部 8/27(日) 石川地区グランドゴルフ大会への協力

その他の文化部も本校で9月に行われる文化発表会に向けて全力で準備を進めることとなります。こうした大会等での活躍を祈念して本校では6月22日(木)に『激励会』を体育館で実施しました。各部の部長を中心に大会等への意気込みなど、熱く語ってくれました。その後、今年度は各部長がワンチームとなり、大会に向けての“宣誓”、そして生徒会本部



役員からのエールもあり、「工夫されているなあ」と感じました。私からは大会やコンクール等に参加する生徒に対しては、「当日は緊張すると思いますが、『いつもどおりが一番強い!』ので、平常心で臨んで欲しい」と伝え、さらに大会等の終了後に仮に目標を達成することができなかったとしても「成し遂げることはできなかったが、やり遂げることはできた。」と胸を張って終われるように努力して欲しいと激励しました。今後の活躍が楽しみです。

“いじめ”について考える! ~1年 ストップいじめ! ナビの実施~

6/12(月)6校時に1年生はオンラインでNPO 法人ストップいじめ! ナビ所属の弁護士の方を講師として「いじめ」について考える授業を実施しました。内容としては、DVDの貸し借りをきっかけにトラブルとなった事例を題材として、何が「いじめ」に当たるのかを理解し、「いじめ」をしないようにするためにはどうすれば良いかを考えました。普段から機会あるたびに「いじめ」については、教員からも指導しておりますが、「いじめ防止対策推進法」を熟知している弁護士の方から直接ご指導いただいたことは、1年生にとって大変有意義な時間になったと思います。次のとおり、生徒の振り返りの一部を紹介いたします。



- ・ネットいじめの場合は言葉が形で残り続けてしまうから、怖いなあと思いました。普段使っている何気ない言葉でどこかの誰かが傷つく可能性があると考えて生活していきたい。
- ・これからは、まず自分が誰かを傷つけていないか考えてから、いじめを受けている人を守ることができるようになりたい。
- ・同じ言葉でも人によって受け取り方が異なるので、心のコップにたまるスピードが違うことをこれからも忘れず生活していこうと思いました。

授業力向上を目指して ~小中合同で研究協議~

本校では2021年度より県の『かながわ学びづくり推進地域研究委託事業』を受託し、授業改善に取り組んでいます。今年度も年間3回の研究授業および研究協議と夏季研修会を実施する予定です。6/14(水)6校時には次のように各学年1クラスずつを対象として第1回研究授業を実施いたしました。



1年2組 国語 渡嘉敷沙里先生 2年6組 国語 清野光紗先生 3年5組 音楽 伊藤いづみ先生

当日は多くの近隣の小学校の先生方にも参加していただき、率直な感想や小学校での取り組み等、貴重なお話を伺うことができました。今後も“中1ギャップ”を解消するために小中連携を深め、義務教育9年間を意識した教育活動を展開できるよう努めて参ります。

全学年で情報モラル教室を実施しました!

6/26(月)教育ネットの方を講師としてお招きし、学年ごとに「情報モラル教室」を実施しました。動画やケーススタディを通してラインなどのトークアプリにおける問題点や危険性について、生徒とのやり取りを交えながら丁寧に説明していただきました。具体的には次のとおりです。

- ・自分が書き込んだ内容を相手はどう受け止めるか、わからないので、誤解されないように注意して送る必要がある。
- ・ネット上のコミュニケーションにおいて、心地良い関係を築くためには「心のゆとり」「寛容な気持ち」が必要である。
- ・ネットでの誹謗中傷は刑法で処罰対象となる可能性があるため、万が一アップしてしまった場合は直ちに削除すべきである。



社会問題にもなっているSNS上のトラブル。本校でも個人情報となる動画や写真を許可なく安易に送ってしまう事案も起きています。中学生にとってスマホは夢中になってしまいがちな“道具”です。子どもが利用しているご家庭においては、夏休み前にもう一度適切な利用について話し合う機会を設けていただければ幸いです。よろしくお願ひします。

★8組の作品です。梅雨の時季の校舎内に彩りを与えてくれています!

